



ききょうだより

山県市立
美山小学校
第 9 号
令和 元年
11月27日

==教育目標：『磨き 輝き 未来をともに拓く』==

11月は割と暖かな日が多くありました。秋の深まりは例年より遅く、美山小のイチヨウの落葉も遅くなりました。先週末の「ふるさと美山」「ひびきあい活動」には多くの保護者の皆様に参観していただきました。5年生の「ぜっぴんライス」を購入いただいた方も多くありました。感謝いたします。道徳の授業は、昨年に引き続き全学年「いじめ」を題材にしました。いじめのひどさを確認し、いじめを許さない決意につなげる取組と考えています。

祝V3！学校歯科保健優良校県一位



今年度も「岐阜県学校歯科保健優良校表彰」において、美山小が県一位となりました。これで3連覇、本当にすごいことです。先日下呂市での岐阜県学校歯科保健研究大会において、井上養護教諭とともに表彰を受けました。3年連続の「県一位」となったため、来年度からは「特選校」と

なることも決まりました。嬉しい限りです。

この賞は、書類や教育委員会の推薦で決まるものではなく、歯と口腔の健康に関する各学校の取組の実際と、県歯科医師会による6年生児童の歯科検診(10月実施)の結果で決定され、ある意味真剣勝負の結果です。学校歯科医の土田先生の熱心なご指導の賜とも言えます。本校児童や卒業生の誇りになっており、将来の自分への大きな財産とも言えるこのよさを今後も大切にしたいと考えています。昨年度の実地審査で指摘された課題「PTAを中心とした家庭・保護者との連携」についても「歯科医お勧め歯ブラシ」販売等の取組が評価されました。

ひびきあい活動 授業参観

「ひびきあい活動」授業参観は、昨年度同様全学級「いじめ」を題材とした道徳授業を公開しました。いじめは被害者の心の痛みを考えた時、決して許されるものではないことは周知の通りです。一方、いじめはどの学校・学級でも、誰にでも起こり得る問題であることも事実です。美山小でも他人事でないことは先月のききょう

だよりでお伝えしました。そのため、道徳授業では以下の点をねらいとしました。

- ①いじめられた子の心の痛みは計り知れないほど大きい。
- ②いじめられた子が苦しむのは、いじめる子がその原因をつくっている。
- ③いじめを見ていて何もしない子は、いじめられている子からすると、いじめる子と同じように感じる。

全て当たり前のことと言いたいところですが、現実にはなかなか難しいものです。いじめられたことのない子にとっては、いじめられた子の心の痛みは理解しにくいのです。またいじめた子が100%悪いのに、その子の性格等からストレートに「あなたが悪い」と言えない現実もあります。見ているだけの子の罪への理解はさらに難易度が上がります。しかし、これらのことを棚上げし他の視点でいくら議論しても現実のいじめを解決できません。



道徳授業(4年1組)

来日中のフランシスコ教皇は、「学校でのいじめが本当に残酷なのは精神と自尊心が傷つけられることです。」と述べたうえで、「この疫病に対して使える最良の薬は、あなたたち自身です。友人や仲間どうして“絶対だめ”、“それは間違っている”と言わなければいけません。」と訴えました。私はキリスト教徒ではありませんが、その通りだと感じました。いじめは命に関わる問題です。解消に向けて美山小は覚悟をもって取り組み続けます。(校長 河村 一彦)